



2021年

プレゼミナールのご案内

2021年9月25日(土)

8月18日(水) エントリー開始

プログラム

9:20~9:40 開会式・全体説明(8:30~受付開始)

文系：「不思議の世界に飛び込もう」

午前の部 10:00~11:30、午後の部 12:45~14:15

セミナー1(歴史学・日本中世史)

公家視点で振り返る日本中世史

定員30名

セミナー2(米文学・アメリカ南部文学)

ポーの「黒猫」を読む

定員30名

セミナー3(子ども学・教育学)

『奇跡の人』の「奇跡」ってなんだろうか? 定員30名

セミナー4(生活文化学・民俗学)

風水ってなに?

定員30名

セミナー5(発達障害児者・臨床心理学)

「ふつう」から「障害」を考える

定員30名

理 系

午前の部 10:00~11:30、午後の部 12:45~14:15

セミナーA(数学・力学系理論)

無理数の近似からみる数学の世界

定員20名

セミナーB(物理学・宇宙物理学)

数学を探そう

定員なし

セミナーC(化学・非平衡系化学)

リズム現象に向けられる科学者の関心

ーモデル化学反応で迫る

定員20名

セミナーD(生物学・発生生物学)

ウニの棘(トゲ)はどこにできる?

ー海の動物の生活史

定員20名

※各セミナーの午前の部は10:00~11:30、午後の部は12:45~14:15(各90分)を予定しています。セミナーによって授業時間配分が多少異なる場合があります。

※総合型選抜(新フンボルト入試)文系学科受験者は、各セミナー終了後、レポートを作成します(14:30~15:30)。

※理系学科志望の総合型選抜(新フンボルト入試)受験者はプレゼミナールの受講は必須ではありません。理系学科の第1次選考は書面審査にて行われます。

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、プログラムの内容が変更になる可能性があります。

理学部生物学科 大学院生による研究ポスター発表／自主研究課題相談会(14:30~16:30)

※新フンボルト入試受験者は「大学院生による研究ポスター発表」のみ参加できます(自主研究課題相談会は参加不可)。

図書館情報検索講習会(15:45~17:00)

新フンボルト入試受験者をはじめ、プレゼミナール受講者(文系、理系ともに)はどなたでも参加可能です。

附属図書館見学(11:30~12:45、14:30~15:30)

附属図書館を見学できます。この企画への参加は任意です。

セミナー1 公家視点で振り返る日本中世史 (大藪 海:歴史学・日本中世史)

定員30名

中世は武士の頂点に立った源頼朝が鎌倉幕府を開いたことにより始まる—このような考え方は現在見直されていますが、「中世は武士の時代」のイメージはいまだに強いといえます。それでは、古代以来政治の中心にいた公家たちは、中世は何をして過ごしていたのでしょうか。政治の世界から離れ、蹴鞠に興じるなど優雅な生活を送っていた…わけではありません。彼らは相変わらず政治の世界にとどまり続けていました。本セミナーでは、中世の政治史を公家視点で振り返り、「中世は武士の時代」というイメージを覆すことを試みたいと思います。

セミナー2 ポーの「黒猫」を読む (丸谷 徳嗣:米文学・アメリカ南部文学)

定員30名

詩人、批評家、雑誌編集者でもあったエドガー・アラン・ポーは、非常に多彩な顔を持つ文人で、小説家としても推理小説、ホラー小説、ゴシック風の作品、海洋冒険譚、疑似科学物など、とにかく奇異なものを主題として数多くの作品を生み出しました。中でも有名な「黒猫」は、これまで実に多様な解釈がなされてきた多面的なテキストです。本セミナーでは、作中の鍵となる場面をいくつか原文で読みながら、テキストの表層を突き抜けて作品の、そしてできれば作家の精神の奥深くまで、みなさんと一緒に覗き込んでみたいと思います。

セミナー3『奇跡の人』の「奇跡」ってなんだろうか? (小玉 亮子:子ども学・教育学)

定員30名

コロナ禍にはいるまえでしたが、池袋の劇場で、高畑充希主演の『奇跡の人』の公演がありました。これまでこの演劇は日本でもさまざまな俳優さんによって繰り返し上演されてきていますし、アメリカでは何度も映画化されてきましたので、ご存知の方も多いと思います。『奇跡の人』は、ヘレン・ケラーとその先生であるアン・サリヴァンを描いた物語です。本セミナーでは、この演劇のタイトルに、なぜ「奇跡」という言葉が使われているのかを通して、子どもと教育について考えてみたいと思います。

セミナー4 風水ってなに? (宮内 貴久:生活文化学・民俗学)

定員30名

「風水」というコトバを聞くと何を想像しますか?黄色は金運アップ。赤は恋愛能力アップなど色の風水かもしれません。あるいは、部屋に物を置くときの配置を工夫すると運氣がアップするというインテリアの風水かもしれません。こうした風水は、1995年頃から日本全国に流布し、風水ブームが起きました。はたしてこれらの風水は風水なのでしょうか。本講義では風水とはそもそもなんであるのか?日本本土、沖縄での実態について、フィールドワークで得られた資料から講義します。

セミナー5「ふつう」から「障害」を考える (砂川 芽吹:発達障害児者・臨床心理学)

定員30名

あなたにとっての「ふつう」と、わたしにとっての「ふつう」は同じでしょうか。また、「ふつう」でないことは、どのような意味を持つでしょうか。

本セミナーでは、みなさん一人一人にとっての「ふつう」を考えることを通じて、「障害」についての理解を深めていきたいと思います。さらに、近年診断を受ける子どもや大人が増加している発達障害を中心に、「障害」があるという体験世界を取り上げ、臨床心理学的観点から理解と支援について考えていきたいと思います。

図書館情報検索講習会 15:45~17:00

定員なし

この企画の参加は任意です。これからの社会では、信頼できる情報・データを集め取捨選択し、そのデータ(エビデンス)に基づいて論理を組み立て、独創的な解・処方箋を提示する、という力が求められます。これは入学後の学修、さらには社会に出てからもますます必要不可欠なスキルとなることでしょう。新フンボルト入試の文系第二次選考では、こうした力(ポテンシャル)を問う「図書館入試」を行います。図書館入試では、課題を提示し、本学の附属図書館所蔵資料を自由に使って情報やデータを集め、それらを組み立てて結論を導き出してもらいます。この講習会では、そうした情報を探す方法、それをまとめていくノウハウ、などこれからのみなさんの学びに役立つレクチャーを行います。コロナ禍のなか、実際に資料を探したりレポートを書いたりする体験型・演習形式の授業を実施することはできませんが、この講習会を通じて一歩先の学び、を体験してみてください。なお、新フンボルト入試受験者を含め、文理いずれの受講者でも参加できます。

セミナーA 無理数の近似からみる数学の世界（篠田 万穂：数学・力学系理論）

定員20名

循環小数で表されない無限小数を無理数と言いました。無理数を表す無限小数を途中で止めると有理数になるわけですが、これは無理数の「良い近似」になるのでしょうか？より「効率的」に近似する方法はあるのでしょうか？本セミナーでは「連分数展開」という数の表現を紹介し、円周上をぐるぐる回る点を考察することで、それが無理数の良い近似を与えることを論じます。無理数の近似というテーマを通じて、数学の自由さや楽しさを感じていただけたら嬉しいです。

セミナーB 数学を探そう（森川 雅博：物理学・宇宙物理学）

定員なし

見渡せば、身の回りにも自然の中にも数学が溢れています。a)これを皆さんが見つけて考察して報告して、議論しませんか。逆に、高校数学で習うけど、何の意味があるんだろう、何が面白いんだろう、と懷疑したことはありませんか。b)これを皆さんがじっくり検討してきて報告して、議論しませんか。→例えば、潮の満ち引きと三角関数、反射や散乱の数学、ギターのフレット間隔・音階など音楽の数学、家の屋根などのデザインと数学、花びらの枚数を決める数学、複素数と現実世界との関係、無限小とか無限大とかの意味。n進法は有用か。その他何でもOK。

セミナーC リズム現象に向けられる科学者の関心

ーモデル化学反応で迫る（森 義仁：化学・非平衡系化学）

定員20名

自然界には様々なリズム現象が知られています。心臓の鼓動、蛍の点滅、間欠温泉の噴き出しなど、また、わたしたち人間に目を向けると、乳児が獲得する睡眠リズム、プレゼントをもらった子どもはそれを繰り返し振ることがありますよね、あれは一体なんだろう。劇場で一幕終わるときの拍手、その拍手は最後にタイミングがそろいますね。そのタイミングとは何？このような様々なリズム現象をなんと化学反応をモデルとして理解しようとする科学者の試みがあります。その試みをご紹介しますとともにみなさんと一緒に考えて行こうと思います。

セミナーD ウニの棘（トゲ）はどこにできる？

ー海の動物の生活史（清本 正人：生物学・発生生物学）

定員20名

海の動物にはいろいろな形をしたものがあります。子ども（幼生）は親と全く違った形をしていて、海を漂うプランクトンの生活をしています。このような海の動物の一生（生活史）を、ウニを使って観察します。ヒトデやウニは前後左右のわからない五放射の体をしていますが、幼生はどんな形をしているのでしょうか。親のウニのトゲトゲを幼生の体の中に見つけられるのでしょうか。さらに、このような海の生き物の生活史を実験室で再現しながら行なっている、ウニの色素や受精についての最新の研究を紹介します。

理学部生物学科 大学院生による研究ポスター発表／自主研究課題相談会（希望者のみ） 14:30~16:30

研究ポスター発表では、生物学科の大学院生が最新の研究成果をポスターで発表します。研究のまとめ方の参考になると思います。また、研究の進め方などについて大学院生と自由に話すことができます。相談会では、自主研究の課題の選定や研究の進め方などについて大学教員が相談にのります。生物学科の受験を考えている人のみを対象とします。応募時に相談内容の概要をお知らせください。

附属図書館見学 11:30~12:45、14:30~15:30

希望者のみ

附属図書館を自由に見学できます。11:30~12:45は新フンボルト入試受験者、14:30~15:30は新フンボルト入試非受験者が対象です。

※なお、「図書館情報検索講習会」「附属図書館見学」については、申し込みの人数・会場の収容員数と、何よりも新型コロナウイルス感染状況を勘案したうえで、感染拡大のリスクを避けながら実施する予定です。9月段階の状況に応じて、プログラムの時間帯や内容に変更などがありえることを、あらかじめご承知おきください（遅くとも17時までは全プログラムを終了する予定です）。

プレゼминаールのエントリー方法について

お茶の水女子大学プレゼминаールは、幅広い学問分野から多彩なプログラムを用意しています。また、お茶大の特徴である少人数教育の醍醐味を体感してもらうため、事前エントリー制を取ります。なお応募者多数の場合は、新フンボルト入試受験者が優先となりますことをあらかじめご了解ください。エントリー期間は、**8月18日（水）から9月2日（木）17時まで**です（必着）。専用の申込フォームによりお申し込みください。

セミナー内容をよく読んだ上で、受講を希望するセミナーを第1～第3希望まで選んで申し込んでください。なお応募者多数の場合には抽選になり、第2、第3希望のセミナーを受講する可能性があることをあらかじめご承知おきください。

※文系学科志望の新フンボルト入試受験者は、プレゼминаールへのエントリーと新フンボルト入試出願書類の提出（**出願期間9月1日（水）・9月2日（木）**）の両方を期限内に必ず行ってください。プレゼминаールには、なるべく出願に先行してエントリーしてください。（エントリー完了時に通知される申込者番号を控えておき、新フンボルト入試出願時に申込者番号と希望セミナーを入力してください。）

※文系学科志望の新フンボルト入試受験者は必ずいずれかのセミナーを受講できますが、非受験者は抽選の結果いずれのセミナーも受講できない可能性もあります。あらかじめご了承ください。

※非受験者は、「図書館情報検索講習会」または「理学部生物学科 大学院生による研究ポスター発表/ 自主研究課題相談会」のみの参加も可能です。

<申込フォーム>

下記のURL（またはQRコード）の「2021プレゼминаール・申込フォーム」から必要事項を入力し、申込みをお願いします。なお、この申込フォームで申し込めない場合には、下記アドミッション・オフィスまでお問い合わせください。

<https://www.ocans.jp/ocha?fid=TqZ3WYQa>

※エントリーを受け付けたのち、アドミッション・オフィスから確認のメールを送ります。9月中旬までにセミナー受講決定についてメールでお知らせします。なお、ocha@ocans.jp および admissions@cc.ocha.ac.jp よりメールをお送りしますので、必ず、@ocans.jp および @cc.ocha.ac.jp からのメールを受信できるよう設定しておいてください。その後のご連絡も、主にメールで行います（新フンボルト入試受験者への入試に関する連絡は郵送にて行います）。



<注意>

※エントリー後、何らかの事情で受講できなくなった場合には、速やかに下記アドミッション・オフィスまでご連絡ください。

※プレゼминаールへのエントリーのためにご記入いただいた個人情報は、本学の入学志願者・受験者に関する情報と同様、適切に処理いたします。同個人情報は本学が管理し、プレゼминаールの運営および付随する業務を行うために必要な範囲内で利用します。（学生募集要項の関連する記載も参照。）お茶の水女子大学における個人情報の取扱いについては下記のとおりです。

<http://www.ocha.ac.jp/about/individual.html>

申込み期間	2021年8月18日（水）～9月2日（木）17時
参加資格	本学での学びを志望する女子 （高校2・3年、性自認が女性であるトランスジェンダーの生徒を含む）



問い合わせ先

お茶の水女子大学 アドミッション・オフィス

MAIL admissions@cc.ocha.ac.jp

TEL/03-5978-2700 FAX/03-5978-2566

※アドミッション・オフィスのスタッフが不在の場合もあるため可能な限りメールでのお問い合わせをお願いいたします。